

＜参考＞

1 ESD とは

ESD とは、Education for Sustainable Development（持続可能な開発のための教育）の略です。

ESD では、現代社会の課題（環境・貧困・人権・平和・開発 等）を自らの問題として捉え、身近なところから取り組む（think globally, act locally）ことにより、それらの課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと、持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動を進めています。

2002 年の「持続可能な開発に関する世界首脳会議（ヨハネスブルグ）」で我が国が ESD の重要性を提唱し、これを受け、同年、国連第 57 回総会決議により、2005 年から 2014 年までの 10 年を「国連 ESD の 10 年」とし、ユネスコが主導機関に指名されました。

2 ESD ユネスコ世界会議の概要

（1）会議名称

持続可能な開発のための教育（ESD）に関するユネスコ世界会議

（2）開催日程

平成 26 年 11 月 10 日（月）～12 日（水）（閣僚級会合及び全体の取りまとめ会合）
※ 11 月 13 日（木）には、フォローアップ会合を開催予定

（3）開催場所

名古屋国際会議場（名古屋市熱田区）

（4）主催

ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）、日本政府

（5）参加者

国内外の閣僚、政府関係者など約 1,000 人を含む数千人規模の参加を想定

（6）目的

「国連持続可能な開発のための教育の 10 年」の活動を振り返り、2014 年以降の方策についての議論を行う。

※ 岡山市では、各種ステークホルダー会合を開催予定

3 ESDユネスコ世界会議あいち・なごや支援実行委員会（平成24年5月設立）

（1）目的

「持続可能な開発のための教育（ESD）に関するユネスコ世界会議」の会議支援及びESDの普及啓発・取組促進。

（2）構成員

会 長：愛知県知事

会長代行：名古屋市長

副 会 長：名古屋商工会議所会頭、一般社団法人中部経済連合会会長

委 員：愛知学長懇話会代表幹事、中部ESD拠点代表、内閣官房内閣審議官、外務省地球規模課題審議官、文部科学省国際統括官、環境省総合環境政策局長、愛知県市長会会長、愛知県町村会会長、愛知県教育委員会教育長、名古屋市教育委員会教育長、愛知県副知事、名古屋市副市長、名古屋商工会議所専務理事、一般社団法人中部経済連合会専務理事

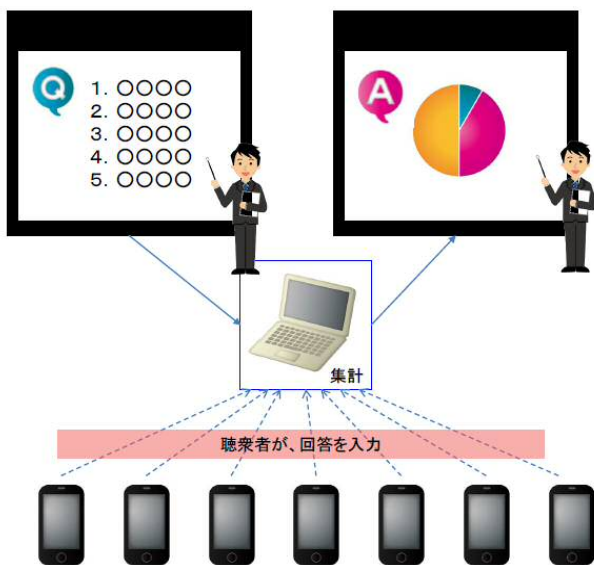
4 「アナライザーシステム」の概要

（1）システム概要

「アナライザーシステム」は、セミナーの中で参加者に実施頂くアンケート及び集計システムです。

本システムは、貸与するタブレット又は参加者自身が所有するスマートフォンから利用可能で、専用のURLにアクセスすることで簡単に回答することができます。また、回答結果を即座に集計し、大型スクリーンに投影することが可能です。

（2）イメージ



◆利用方法

- ①セミナーの中で集計したい設問を表示
会場内大型スクリーンに設問が表示され、来場者のスマートフォンに回答選択画面が表示
- ②回答の選択、集計
セミナー参加者が、選択式の回答一覧から、自分の回答を選択（タップ）すると、瞬時に結果を集計
- ③大型スクリーンへの表示
各スマートフォンにて回答された結果を大型スクリーンに表示（パーセンテージ表示）
- ④各集計結果を保存
講演者への報告用に各設問項目の集計結果を保存